

2016 | 12月期 第2四半期 決算説明会資料

(2016年1月1日～2016年6月30日)

2016年8月24日

日本フェンオール株式会社

1. 事業概要

FENWAL



事業構成

SSP 事業

- 火災警報システム
- 消火システム
- 爆発抑制システム

サーマル 事業

- 温度センサー
- 半導体製造装置用熱板
- 電子式温度調節器

熱制御技術

メディカル 事業

- 人工腎臓透析装置
- その他医療機器

PWBA 事業

- プリント基板実装組立
- アートワーク設計
- ノイズ対策



事業構成（SSP事業）

SSP事業

- 火災警報システム
- 消火システム
- 爆発抑制システム 等の設計、製造、施工、保守

■ SSP (Safety Security Protection)

熱・煙感知器



ガス消火設備ボンベ庫



S-NET 防災盤





事業構成（SSP製品設置例）

羽田空港 国際線旅客ターミナルビル



柏崎刈羽原子力発電所



羽田空港管制塔



東京スカイツリー





事業構成（SSP製品使用例）

超高感度検知器 Fシリーズ



吸引式超高感度煙検知器



爆発抑制装置



火花検知システム





事業構成（サーマル事業）

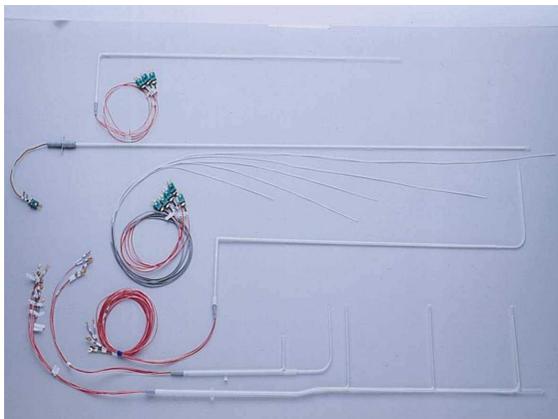
サーマル事業

- 温度センサー
- 半導体製造装置用熱板
- 電子式温度調節器等
の設計、製造、販売

サーモスイッチ



温度センサー



温度調節器



半導体製造装置用熱板





事業構成（サーマル製品使用例）

サーモスイッチ



新幹線N700系
ブレーキ関連装置

温度調節器



半導体検査装置
（ハンドラ）



業務用パン焼き器
（オーブン）

半導体製造装置用熱板



半導体製造装置
（コータ/デベロッパ）



事業構成（メディカル事業）

メディカル事業

- 人工腎臓透析装置
- その他医療機器
の設計、製造

個人用人工腎臓透析装置



組立てライン



長野工場製造

調整検査ライン





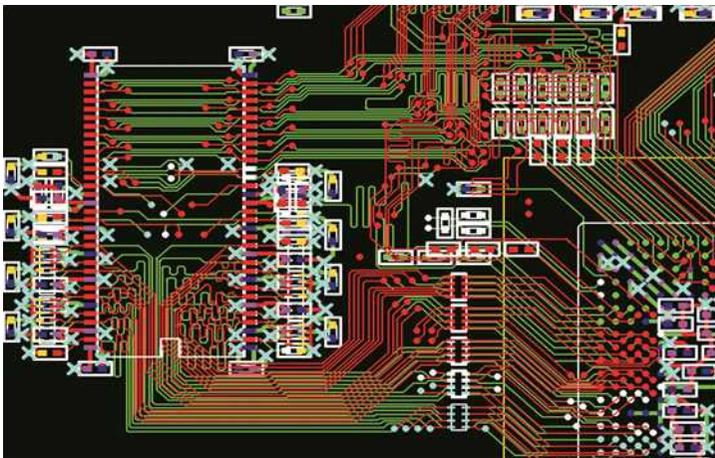
事業構成（PWBA事業）

PWBA事業

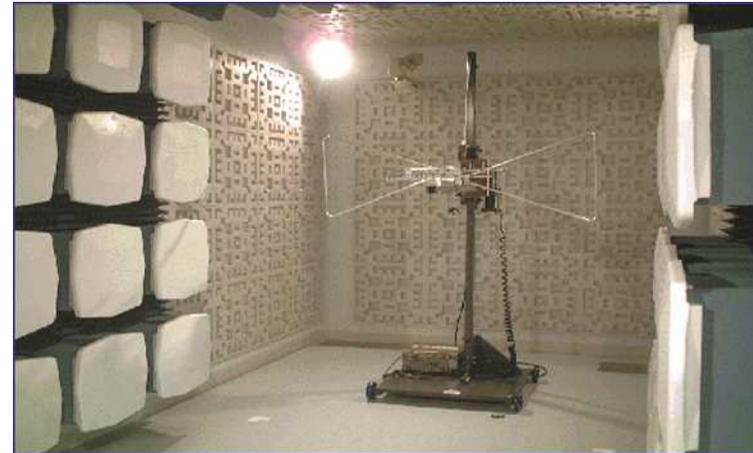
- プリント基板実装組立
- アートワーク設計
- ノイズ対策 等

■ PWBA (Printed Wiring Board Assembly)

基板パターン設計



電波暗室



プリント基板



2. 2016年12月期 第2四半期 決算概要

FENWAL



2016年12月期第2四半期の業績サマリー

(単位：百万円)

業績項目	当 期	前 期	前 期 比 増 減	
	2016 2Q 連結累計	2015 2Q 連結累計	金 額	比 率
■ 受 注 高	8,164	10,100	△1,936	△19.2%
■ 売 上 高	8,598	10,384	△1,785	△17.2%
■ 営 業 利 益	897	972	△75	△7.7%
■ 営 業 外 損 益	0	42	△42	— %
■ 経 常 利 益	897	1,014	△117	△11.6%
■ 四 半 期 純 利 益	623	677	△54	△8.0%
■ 1株当り純利益	105.78円	114.95円	△9.17円	△7.9%
■ 期中平均レート (USドル)	113.05円	120.49円	△7.44円	△6.1%



決算ハイライト

1 売上

17.2%
減収

連結売上高は 8,598百万円

- PWBAは販売減と円高の影響で苦戦
- メディカルは出荷先での在庫調整により減収
- SSP、サーマルについても若干減

2 売上
総利益

5.3%
減益

売上総利益は前期比減も見通しを上回る

- PWBAは売上減が影響し前期比 Δ 32.9%
- SSPは高付加価値製品の売上増等により前期比+21.6%

3 売上総
利益率

2.7%
上昇

売上総利益率は21.7%と前期比2.7%上昇

- 売上総利益の約6割を占めるSSPの売上総利益率が前期比7.5%上昇

売上高減少も利益率改善により利益は若干減にとどまる。



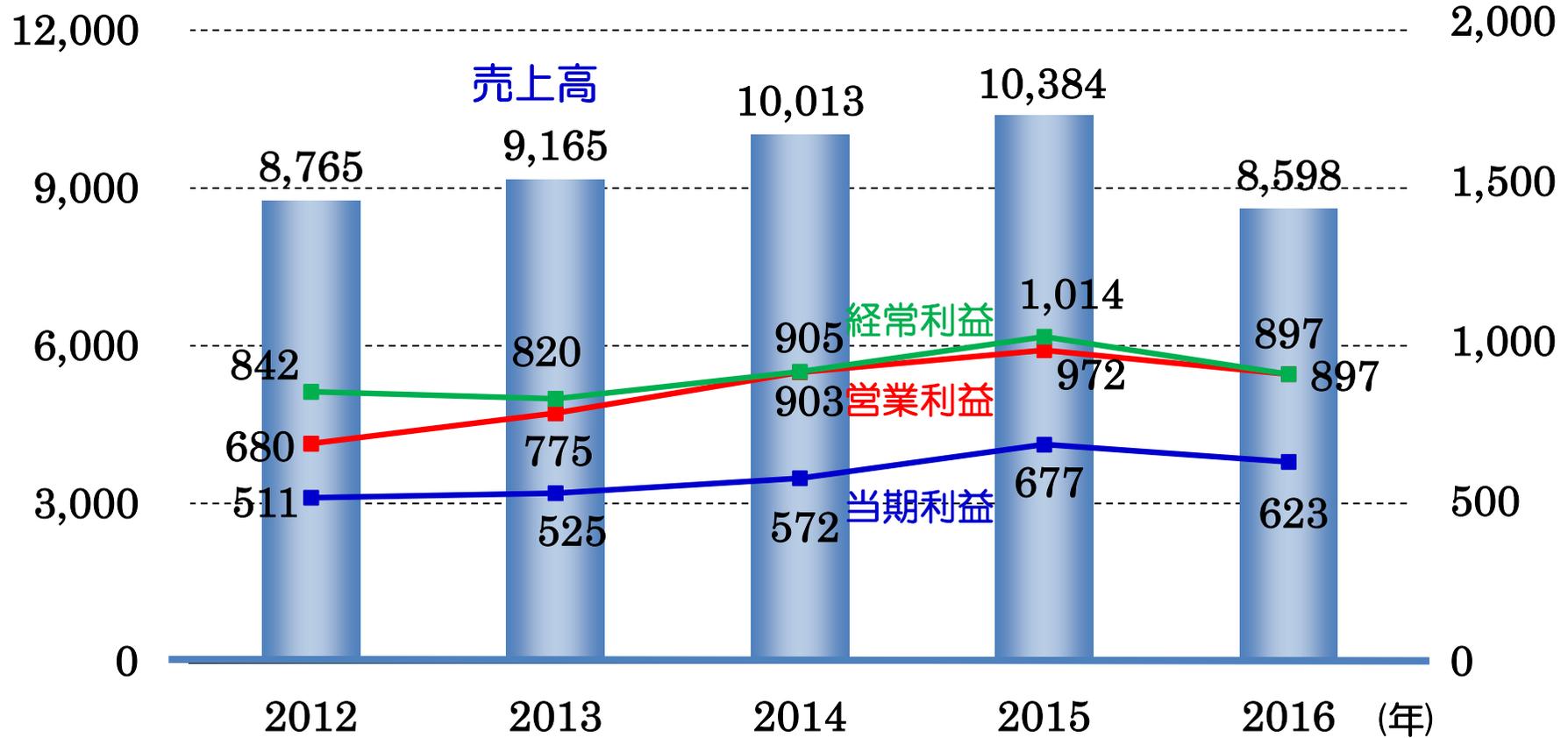
第2四半期連結累計期間業績推移

売上高

(単位：百万円)

利益

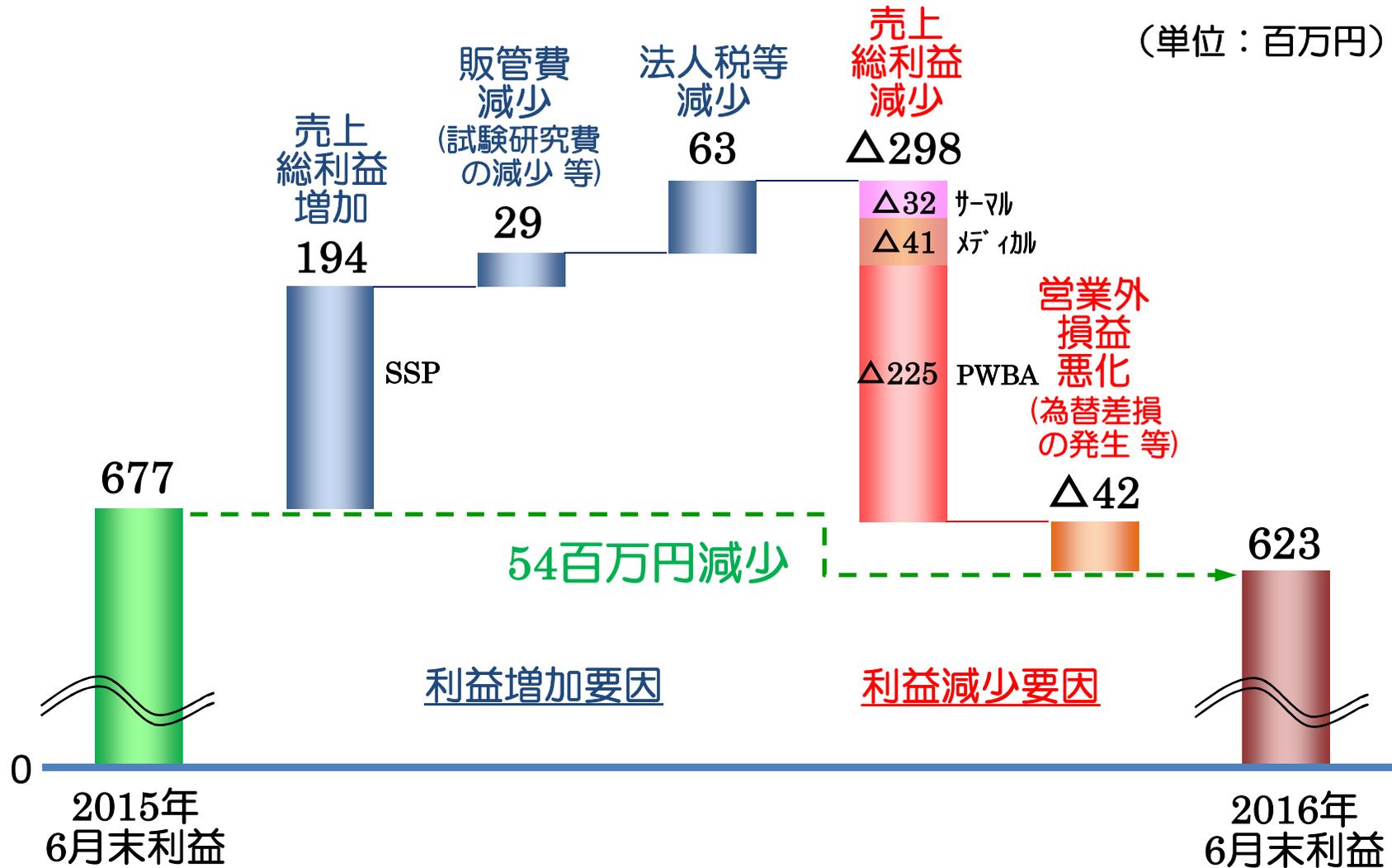
売上高減少も利益率向上





前期比 利益増減要因

SSP部門で粗利益が増加するも、PWBA部門で大幅に減少





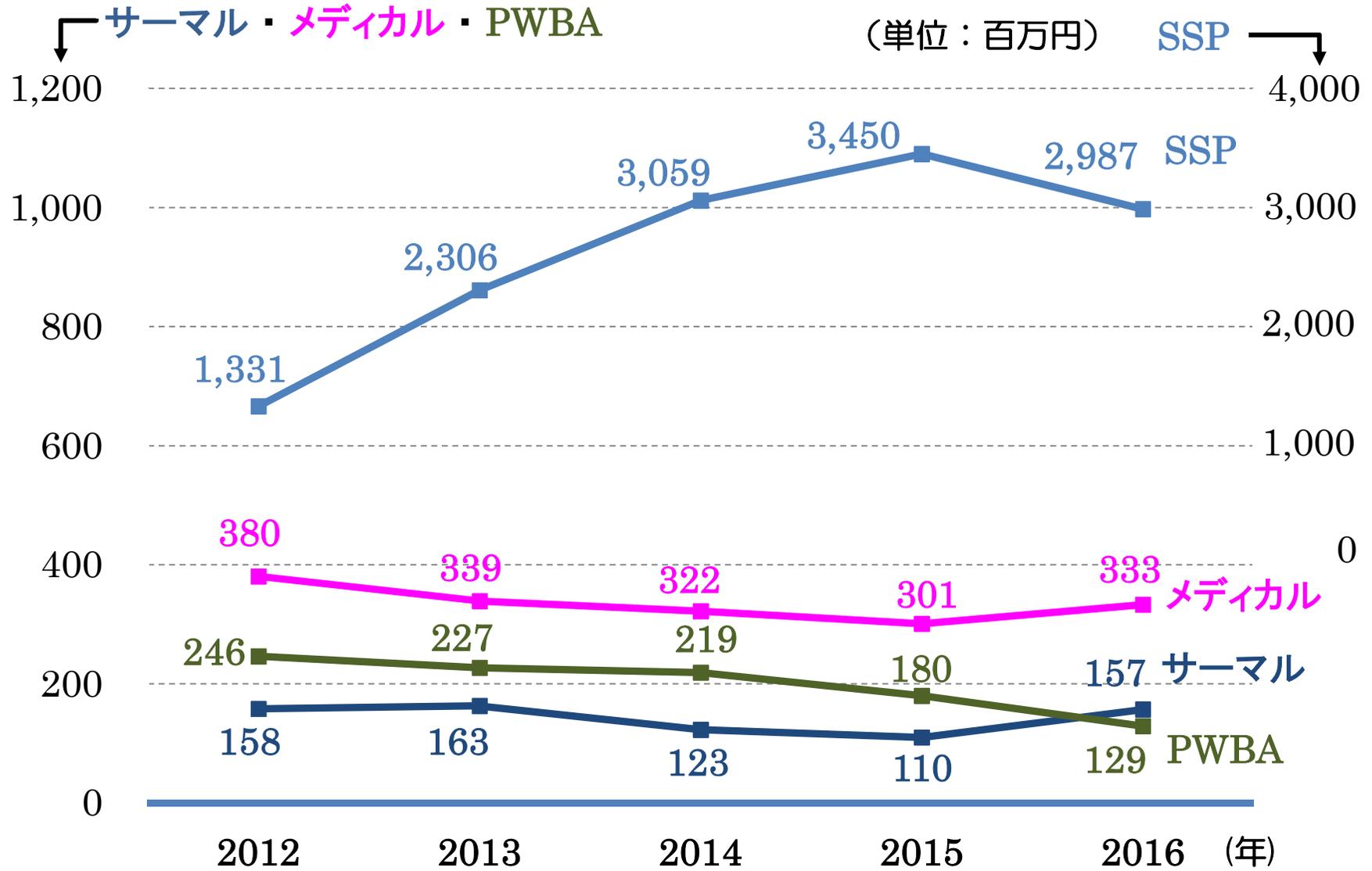
セグメント別業績概要

SSP	減収 増益	売上は前期比減少も売上総利益は増加 <ul style="list-style-type: none">■ 電力等基幹産業向けガス系消火設備減少■ 爆発抑制装置等産業用特殊防災設備増加
サーマル	減収 減益	半導体製造装置の需要一服 <ul style="list-style-type: none">■ センサー、熱板とも出荷減■ 温度調節器は前期比増加
メディカル	減収 減益	市場の在庫調整等により減少 <ul style="list-style-type: none">■ 海外向け透析装置等のお荷減■ 前期販売開始した医療機器は堅調に推移
PWBA	減収 減益	為替が円高傾向にあり売上高減少 <ul style="list-style-type: none">■ 為替レートが前年比7円円高■ 販売減により海外売上22%減少



連結部門別受注残高推移

※過年度は期末 当年度は2Q累計



投資・財務概況・経営指標

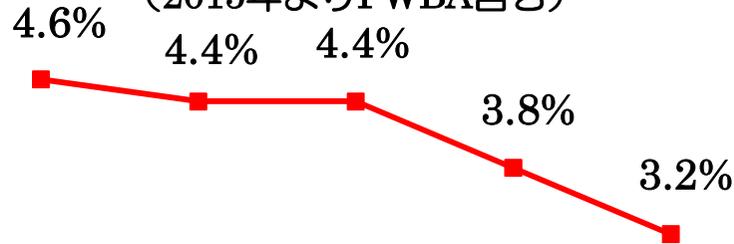
FENWAL



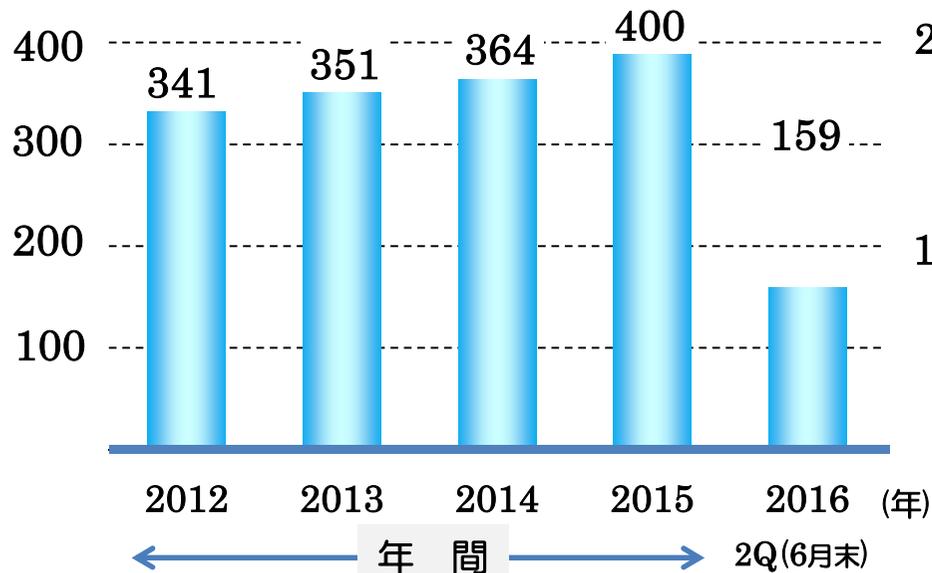
投資概況

研究開発費

売上高研究開発比率
(2015年よりPWBA含む)



(単位：百万円)

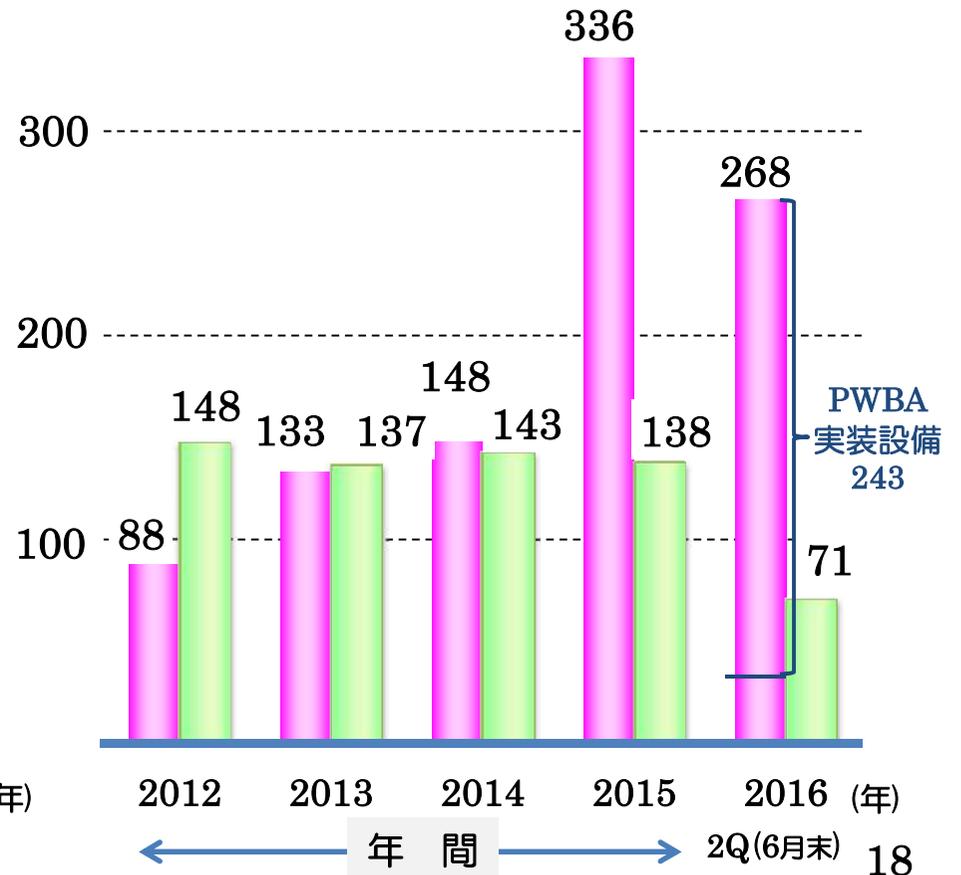


設備投資・減価償却費

(単位：百万円)

■ 設備投資

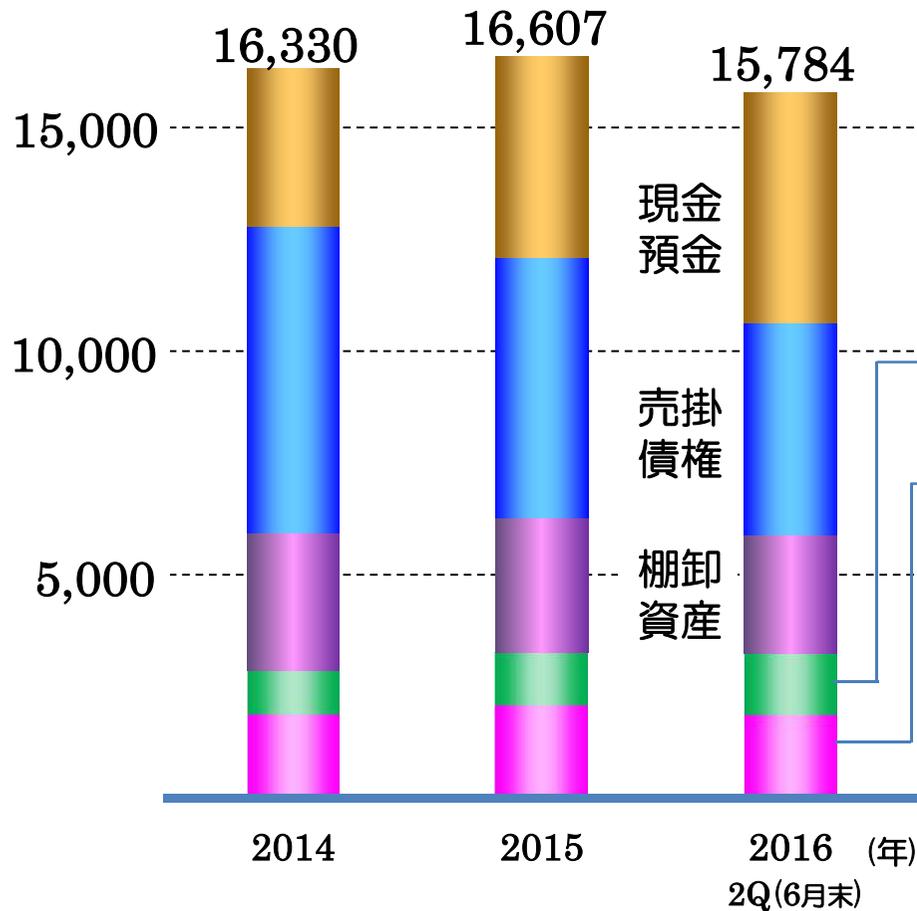
■ 減価償却費





連結貸借対照表(資産の部)

資産推移



増減内容

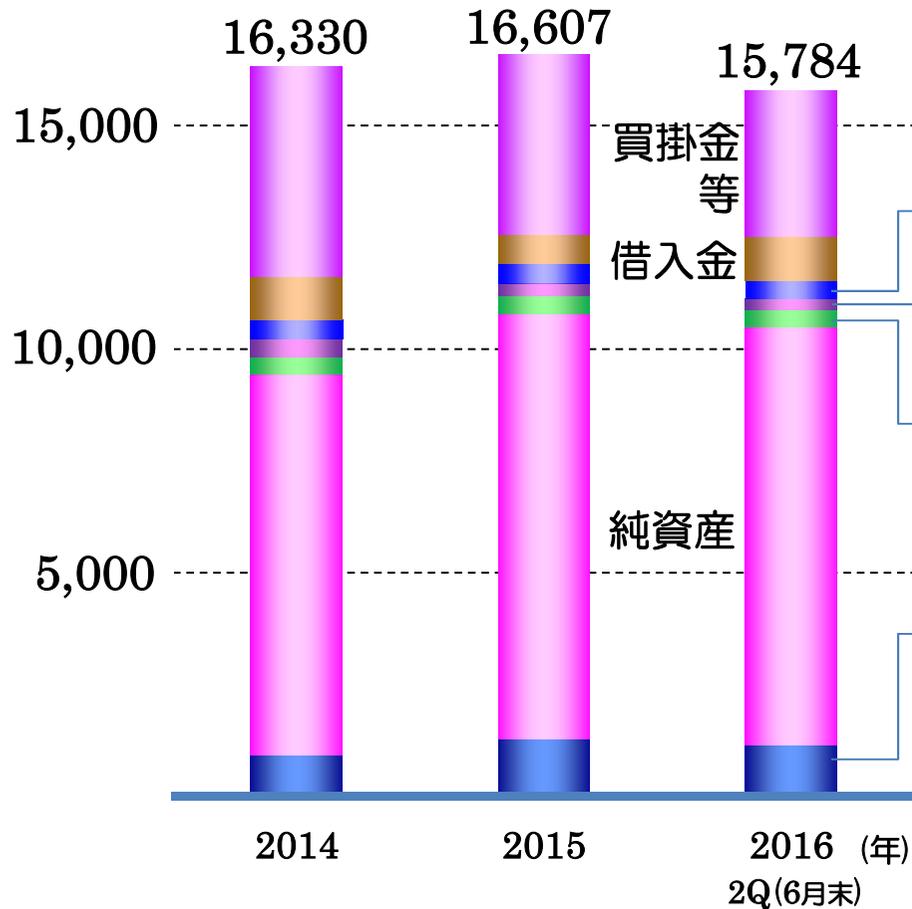
(単位：百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
現金預金	5,135	4,502	14.0%
売掛債権	4,758	5,827	△18.3%
棚卸資産	2,648	3,019	△12.3%
固定資産	1,369	1,171	16.9%
投資等	1,815	2,031	△10.6%
その他	57	55	4.5%
合計	15,784	16,607	△5.0%



連結貸借対照表(負債・純資産の部)

負債・純資産推移



増減内容

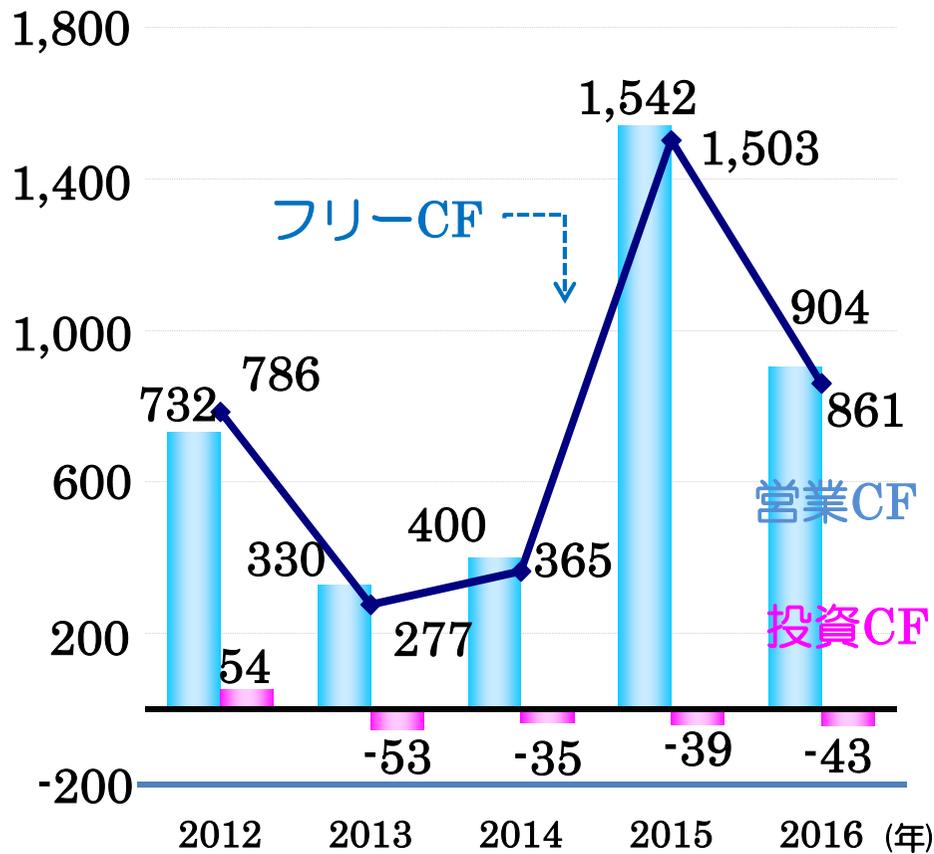
(単位: 百万円)

項目	当期	前年度末	増減率
買掛金等	3,260	4,038	△19.3%
借入金	983	656	49.8%
社債	402	451	△11.0%
未払法人税等	246	253	△2.9%
退職給付	382	411	△6.9%
純資産	9,356	9,521	△1.7%
その他	1,151	1,274	△9.6%
合計	15,784	16,607	△5.0%



キャッシュ・フロー計算書

第2四半期 キャッシュ・フロー推移



増減内容

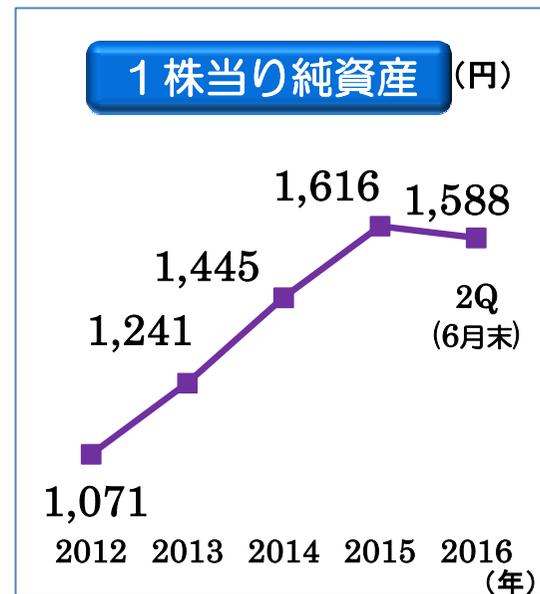
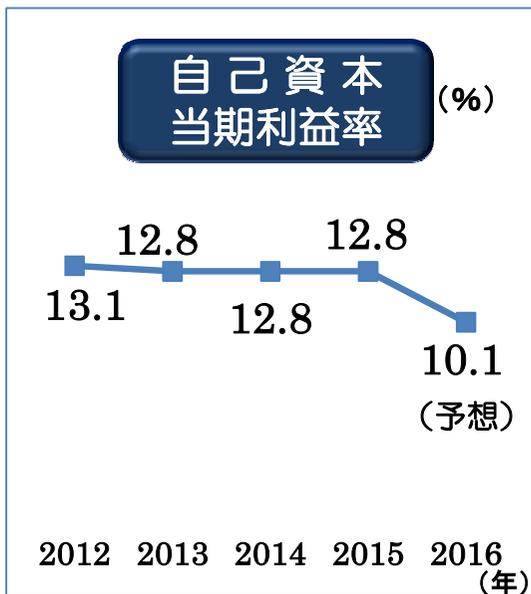
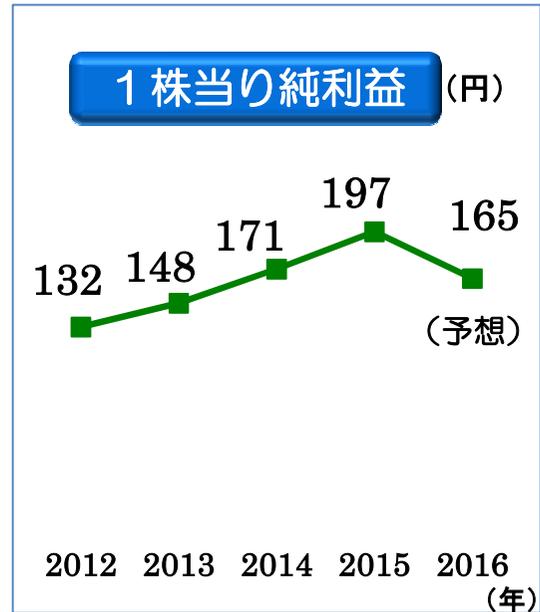
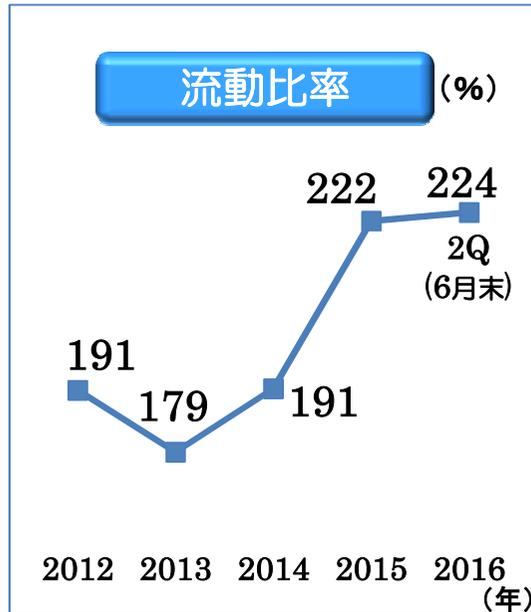
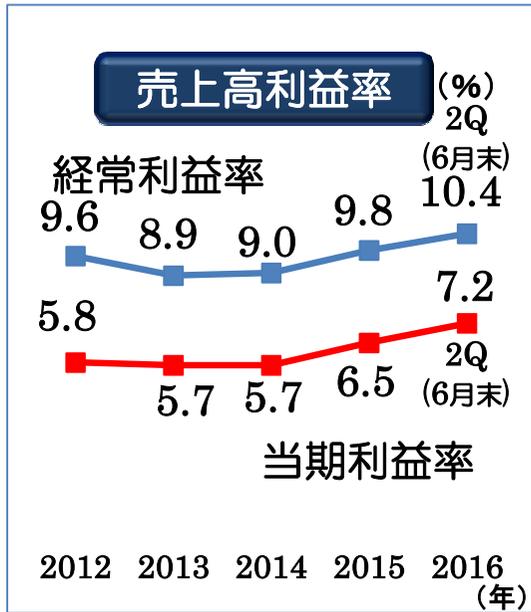
(単位：百万円)

項目	当期	前期	増減率
営業CF	904	1,542	△41.4%
投資CF	△43	△39	△12.4%
財務CF	△9	△52	82.5%
換算差額	△218	15	—
合計	632	1,465	△56.9%
期首残高	4,002	3,007	33.1%
期末残高	4,634	4,473	3.6%

フリーCF	861	1,503	△42.7%
-------	-----	-------	--------



経営指標



3. 2016年度 通期連結業績見通し



2016年度連結計画サマリー

2016年12月期通期業績予想修正 (2016年7月29日)

(単位：百万円)

計画項目	前期比		中期計画比		
	2016 予想	2015 実績	増減率	2016 計画	増減率
■ 売上高	17,054	20,126	△15.3%	21,600 (21,157)	△21.0% (△19.4%)
■ 売上総利益	3,525	3,931	△10.3%	4,110	△14.2%
■ 販管費	2,064	2,168	△4.8%	2,400	△14.0%
■ 営業利益	1,460	1,763	△17.2%	1,710	△14.6%
■ 営業外損益	23	59	△61.0%	10	130.0%
■ 経常利益	1,483	1,823	△18.6%	1,720 (1,548)	△13.8% (△4.2%)
■ 当期純利益	972	1,158	△16.1%	1,104	△12.0%

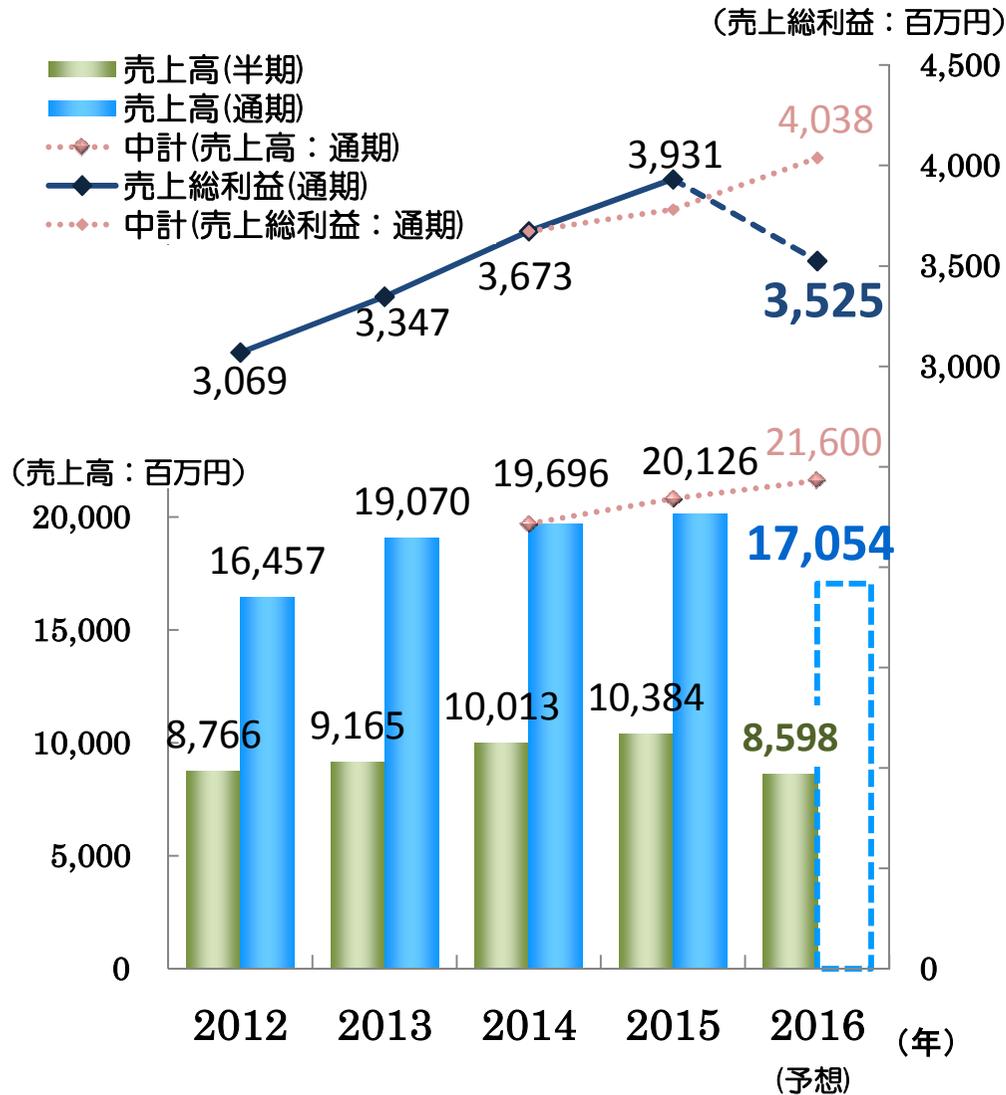
※想定為替レート：1USドル=110円

※カッコ内は修正前の中期計画



全社の見通し

業績の推移（実績・予想）



【減収・減益 予想】

- ・ 売上高 前期比△15.3%
- ・ 売上総利益 前期比△10.3%

- PWBA部門の主要取引先の事務機器の販売が減少したことにより、当社のプリント基板の出荷が大きく減少
- 為替が円高傾向に転じたことにより、海外子会社の売上が大幅に減少



中期3ヶ年経営計画（2014年～2016年）

中期計画の進捗状況（2016年）

上方修正時の 当社環境

2014年度にスタートした3ヶ年の中期計画は、初年度においてサーマル部門を除き、全ての部門において売上、利益共に計画値をクリアし、会社全体でも計画値を上回った。特に経常利益については2014年度に大きく上振れし、計画の最終年度である2016年度の値を既にクリアする結果となった。

現状の見方 2016年環境

PWBA部門の主要取引先の事務機器が全体的に減少しており、当社のプリント基板の出荷も大きく減少していることに加え、為替が円高傾向に転じたことで、当社の海外子会社の売上が大幅に減少しており、当面厳しい状況が続くものと見ている。



2016年度 | 売上高：計画比△21.0% | 経常利益：計画比△13.8%



基本方針

SSP

- ・ 競争が少なく利益率の高い市場及び差別化した製品販売に注力
- ・ 差別化された商品を用いた新たな市場を創造
- ・ 東北、北海道地区を強化

サーマル

- ・ 脱セミコンをスピーディーに推進
- ・ 差別化された自社製品の開発

メディカル

- ・ 人工透析機以外の医療関係へ進出
- ・ 差別化された新製品の開発

PWBA

- ・ お客様のQCD満足度アップ
- ・ 工場の空洞化対策も含め、既存顧客以外からの新規受注獲得

工場改革

FENWAL



工場改革

2016年の活動テーマ

テーマ	目標	進捗
1.微小チップ実装技術導入	7月から量産導入	実装ライン設置済み
2.新生産管理システム導入	2018年1月稼働	運用・システムの設計段階
3.生産性の向上	3%以上向上	3%を達成する見込み
4.部材調達コスト改善	40,000千円以上	17,610千円まで達成
5.業務パフォーマンスの向上	工場原価3%以上改善	3.4%の改善見込み
6.生産継続リスクの排除	納期影響ゼロ	EOL合意：5機種 検討中
7.残業時間削減	30%以上削減	前年比46%削減
8.新機種導入プロセス	SSP/サ-マル/MEへの横展開	生体モニタの試作で実施
9.客先品質向上	未然防止型管理体制の構築	Green 調達の監査体制確立

【FSP推進室】モノ造りに合わせた新たな生産スタイルを構築
Fenwal Standard Production
Fenwal Speciality Production
Fenwal Satisfactory Performance



『取り組むべき 4 つの項目』

1. 業務プロセス改善	受注→計画→部品手配→製造→出荷
2. 工程改善	工程分析 工程設計 製造L/T 加工リ-
3. 部材価格低減	部品の層別 発注方法 適正在庫 VA/CD
4. 意識改革	危機感 リーダーシップ マネジメント 組織力

長野工場としてのチャレンジを成功させる

- ①微小チップ実装技術導入
- ②新生産管理システムの導入

成長戦略

一歩また一歩 土台を固めて進む

- ①パフォーマンス向上活動（業務の品質/効率/組織力）
- ②技術力の強化（コア技術の確立と伝承）
- ③CSR重視（法令要求の順守）

競争戦略

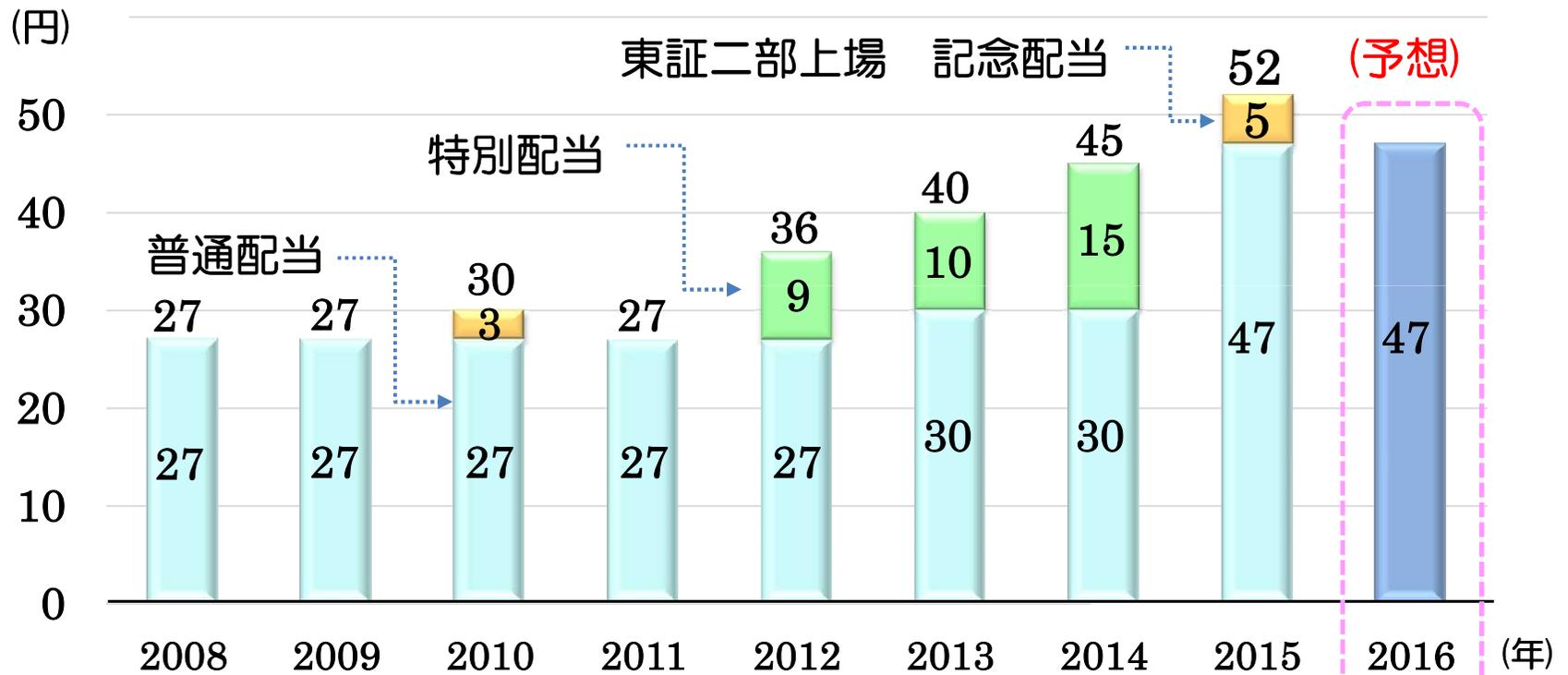
2016年度 配当について

FENWAL



配当金の推移

1 株当たりの配当金推移



当期純利益 (百万円)	▲22	191	182	256	779	874	1,009	1,158	972
----------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-----

■ 注意事項

本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が作成したものでありますが、特に見通し情報等につきましては、市場環境、為替レート等々様々なリスクや不確実性を内包しておりますので、当社の予測とは異なる可能性があります。